

「食支援フォーラム in 庄内2024」 実施要領

1 目的

高齢者や、疾病、障がいを持つ方々は、嚥下機能の低下により誤嚥性肺炎を併発することや、食事が摂れなくなる場合がある。それに伴い、口から食べることが困難となり、胃瘻造設や経鼻経管栄養を余儀なくされることも少なくない。

そのような困難な状況にあっても、「口から食べる」ことは、栄養素の摂取による栄養状態や要介護度の改善につながり、更には食べる楽しみ、味わう喜び、生きる意欲につながることから、食べることの支援は重要である。

また、食べることの支援においては、食べられない多くの要因を解決するため、医療職（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ専門職、歯科衛生士）・介護職（介護支援専門員、ヘルパー、介護福祉士等）等が協働して支援する「多職種による食支援」が必要である。

庄内地域では、この食支援団体として、南庄内地域では「南庄内・たべるを支援し隊」が、北庄内地域では「北庄内食援隊」が活動しており、それぞれの地域で食支援の輪が広がってきている。

そこで、在宅医療・介護に携わる関係者が交流し、お互いの活動を知ることにより知識を深め、活動の強化につなげるとともに、医療・介護職に限らない行政職及び地域住民に対し食支援の重要性の理解を深めることを目的に、このフォーラムを開催する。

2 対象者

在宅医療・介護に携わる関係者（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ専門職、歯科衛生士、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員等）、県・市町村の行政職、食支援に関心がある地域住民等（約120人）

3 開催日時および会場

日時：令和6年9月28日（土）午後1時から午後4時30分まで（予定）

会場：いろり火の里 文化館なの花ホール 多目的ホール
（三川町大字横山字堤172-1）

4 内容

（1）挨拶

（2）招待講演（約60分）

演題 「食べる楽しみをいつまでも」

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯学専攻

老化制御学講座摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 戸原 玄 氏

（3）食支援の活動報告（約20分）

① 北庄内食援隊

② 南庄内・たべるを支援し隊

（4）嚥下食レストラン体験談（約40分）

① 嚥下食を作ることについて（料理人2名）

② レストランを利用して（利用者2名）

(5) 食支援、嚥下食等の紹介、研究発表、企業等の紹介
(会場後方にパネル等の展示を予定)

(6) 閉会

5 その他

【後援 (予定)】

鶴岡地区医師会、酒田地区医師会十全堂、鶴岡地区歯科医師会、酒田地区歯科医師会、山形県看護協会、山形県薬剤師会、山形県栄養士会、山形県理学療法士会、山形県作業療法士会、山形県言語聴覚士会、山形県歯科衛生士会、山形県介護支援専門員協会、日本料理研究会庄内支部鶴岡包栄会、日本料理研究会酒田支部、庄内DECクラブ、鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町